

令和2年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 おりおの幼稚園

1、園の教育目標

	『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子ども達の優れた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。
教育目標	「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる 他人を思いやる心を育てる ありがとうを言える素直な心や、感謝の心を育てる 豊かな精神と丈夫な身体を育てる 基本的な生活習慣を身につける

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	◎ホームページの充実 コロナ禍が続く中、保育や行事に制限があり、保護者が子どもたちの様子を見れないのでツイッターやInstagramに力を入れて子どもたちの動画や写真を載せた。 子どもたちには毎月のカリキュラムに加え、必ず読み聞かせや避難訓練を実施。 ◎ブログや園だよりによる発信 毎日の子どもたちの様子を保護者に発信し、未就児には園庭開放などを実施。 毎月園だよりを発行し、園での様子を伝えた。
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	◎「笑顔のあいさつ」 来園者や近隣の人に出会ったら、笑顔で大きな声のあいさつ・返事することを心がけた。 「おはよう体操」を考案し、毎日体操朝礼を実施した。
教育内容の充実	◎教育内容の質を高める 年度始まりに、どのような特徴のある幼稚園を目指すかを全教職員でディスカッションして決定。そのゴールに到達したときのビジョンも明確にしていく。 ◎行事の見直しと新しい保育の取り組み コロナ禍の感染予防対策もあり、運動会やお遊戯会などの大きな行事の内容を見直した。 安全で安心できる楽しい行事が行えて、盛り上がった。 ◎課外活動のスポーツクラブの開始 器械体操とサッカーをメインで指導している。 ほとんどの園児が入会し、スポーツを楽しんでいる。
防犯対策	◎警備体制の充実 子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員含め2名の門番をつけ、安全面を強化。また、不審なことがあれば保護者へメールで警戒を促す通知と警察へのパトロールのお願いや地域の方への防犯の依頼も実施

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和2年度は、1年間のゴール設定を行い、どんな子どもたちを育てたいのか。その子どもたちは1年経ったときにどんな成長をしているのかというビジョンを考え、私たちがゴール達成するために取り組むべきアクションプランを考えた。また、子どもたちの健康面を1番に考えて、体力の増強として運動活動を増やし、新型コロナウイルス感染予防対策として、各保育室に次亜塩素酸空間除菌脱臭機1台と加湿空気清浄機1台を設置した。

4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	◎ホームページの充実 このコロナ禍の中、保育や行事に制限があり、保護者が子どもたちの様子を見れないので、ホームページでツイッターやInstagramに子どもたち様子をもっと伝える。
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	◎「笑顔のあいさつ」 自然に来園者や近隣の人に出会ったら、笑顔で大きな声のあいさつ・返事ができる。
保育環境の充実・感染症対策	教室の黒板をホワイトボードに交換する。 手洗い・うがい・消毒などを正確に指導して確実に実行できるように見守る。
子どもの体力づくり	◎なるべく密を避けながら、子ども達に縄跳びや体操朝礼などで、身体を動かす楽しさや充実感を味わえるようにし、集中力も身につけるような指導を心がける。 卒園までに、跳び箱・鉄棒・マット運動の基本的な技術を身につける努力をする。
健康管理	◎教職員および園児たちの健康管理 一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を徹底し、安心して保育できる環境づくりに務める。 ◎新型コロナウイルスに対して、情報共有と情報管理に努め、園としてスムーズに全体が動けるように体制を整える。

5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
